

型 式 : マーフィ式マベリックR503L型超軽量動力機 (複座)

識別番号 : JR1244 (財)日本航空協会識別番号)

発生場所 : 北海道白老郡白老町字北吉原516番地の場外離着陸場

発生日時 : 平成7年11月12日 08時50分ごろ

1 航空事故調査の経過

1.1 航空事故の概要

JR1244は、平成7年11月12日08時50分ごろ、操縦者及び同乗者が搭乗し、北海道白老郡白老町の場外離着陸場の離着陸帯30側から着陸した際、風にあおられ、離着陸地帯の左外側に浮揚し、吹き流しの支柱に左翼が接触して墜落。

操縦者及び同乗者 負傷なし

機体 大破、火災発生なし

1.2 航空事故調査の概要

主管調査官が、平成7年11月13日～14日、現場調査を実施。

原因関係者として、操縦者から意見聴取を行った。

2 認定した事実

2.1 乗組員に関する情報

(1) 操縦者 男性 41歳

(財)日本航空協会技量認定

No.9007 (平成7年5月15日)

型式の限定

舵面操縦型

総飛行時間

約48時間

同型式機による飛行時間

約41時間

(2) 同乗者 男性 33歳

(財)日本航空協会技量認定

No.9072 (平成7年9月18日)

型式の限定

舵面操縦型

総飛行時間

約16時間

同型式機による飛行時間

約16時間

2.2 航空機に関する情報

2.2.1 航空機

型式

マーフィ式マベリックR503L型

事故当時の重量

約330kg (仕様書最大重量386kg)

総飛行時間

90時間40分

2.2.2 機体調査

機体及びエンジンは墜落時の損傷以外異常なし。

2.3 気象に関する情報

場外離着陸場に設置してある風向風速計の記録値によれば次のとおりである。

時間	風向	風速	瞬間風速	時間	風向	風速	瞬間風速
08:00	240度	10.1kt	11.2kt	08:40	270度	10.3kt	12.2kt
08:10	280度	7.6kt	9.3kt	08:50	310度	11.8kt	17.5kt
08:20	230度	14.4kt	16.7kt	09:00	280度	14.2kt	17.0kt
08:30	040度	8.2kt	9.4kt	09:10	190度	9.3kt	11.0kt

2.4 その他必要な情報

(1) 横風制限

当該機の飛行規程によれば、横風制限は3.8m/s(約7.4kt)

(2) 航空法上の許可

本飛行に際し、同乗者は、航空法第28条第3項の許可については、第1段階(ジャンプ飛行)は取得、第2段階は未取得。

3 事実を認定した理由

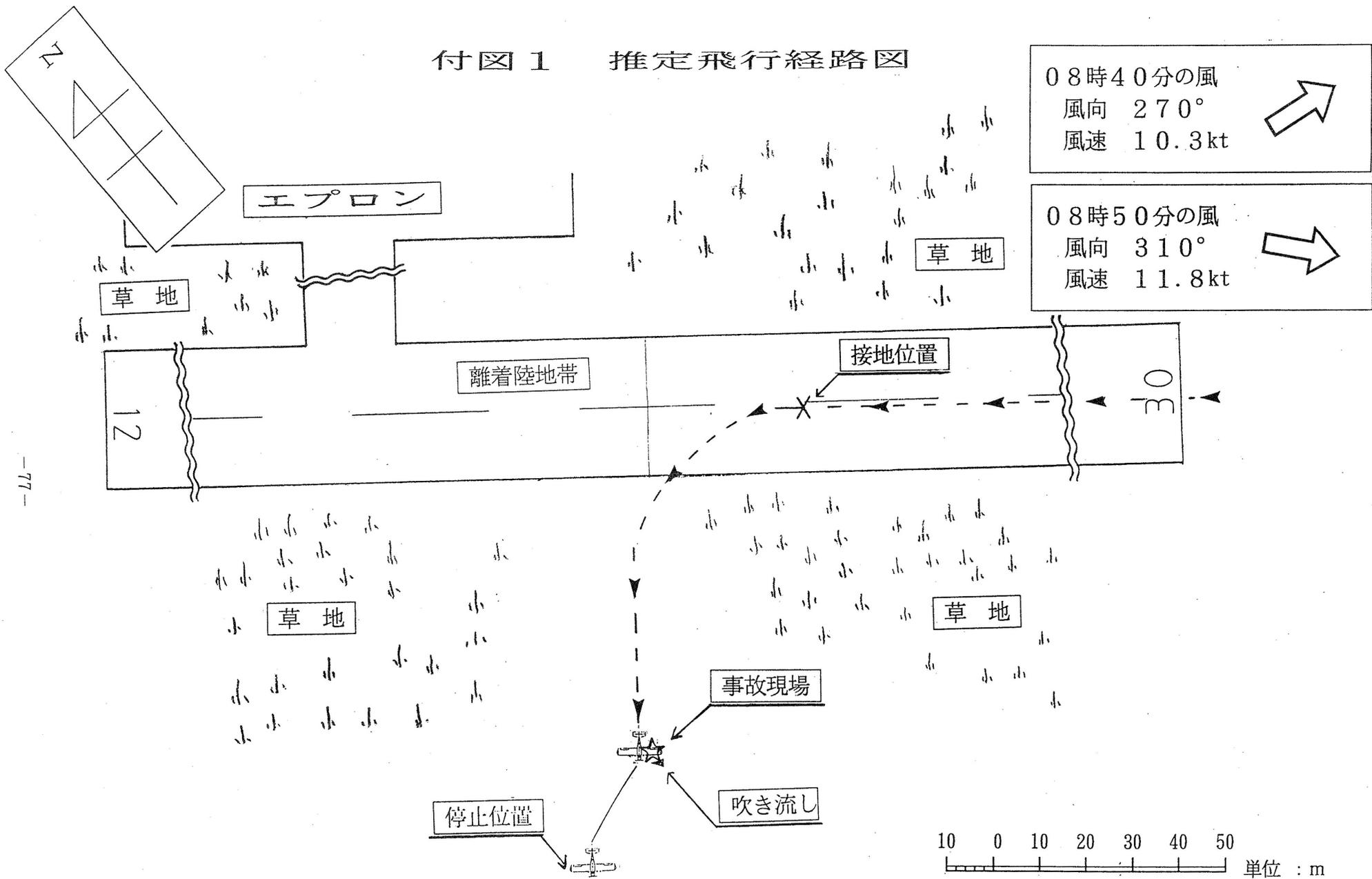
同機は、操縦者及び同乗者の2名が搭乗し08時40分ごろ白老場外離着陸場を離陸し操縦者の慣熟及び同乗者の場周飛行訓練を行っていた。操縦者は、2回目の進入を行うため地上から280°/13kt(左前方)の風の情報を入手し、操縦者は飛行に影響ありと判断し、訓練を中止し着陸することとした。離着陸地帯の末端を速度約64km/hで通過して、速度を落として接地した際、右からの風に煽られたため、出力を上げ着陸復行を行おうとしたが、機首が左に偏向し、離着陸地帯の左外側に流され、吹き流しの支柱に左翼が接触し墜落したと操縦者は述べている。

2.3の記録値によれば、風向風速は変動していたことから、操縦者は着陸の際、風の変動に対して適切な対応操作がとれなかったものと推定。

4 原因

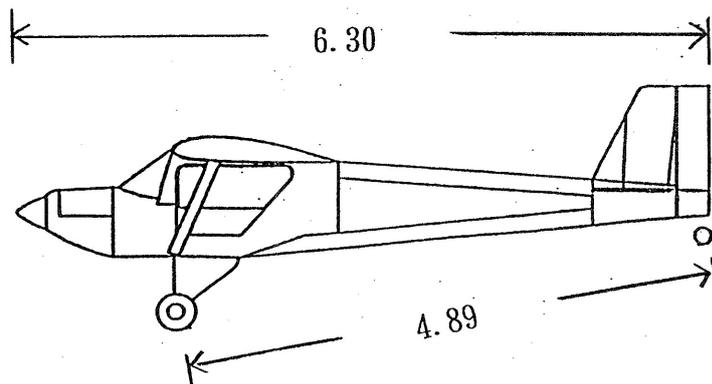
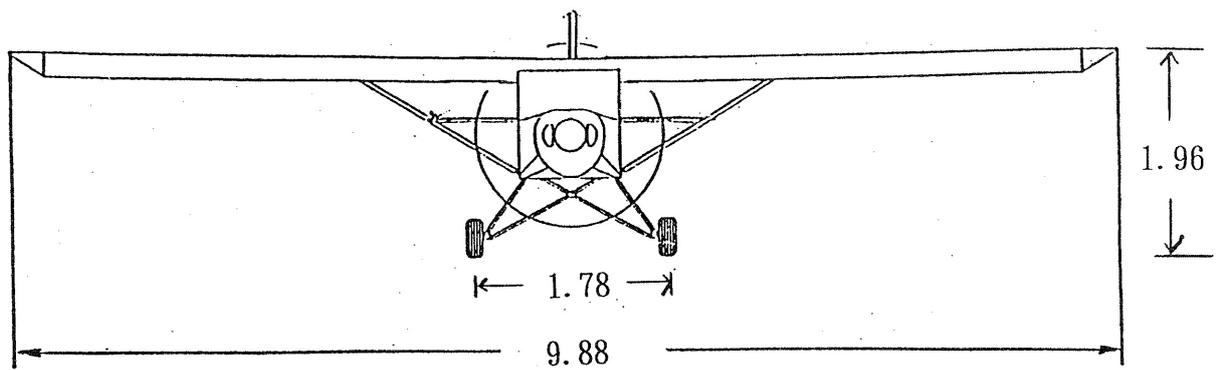
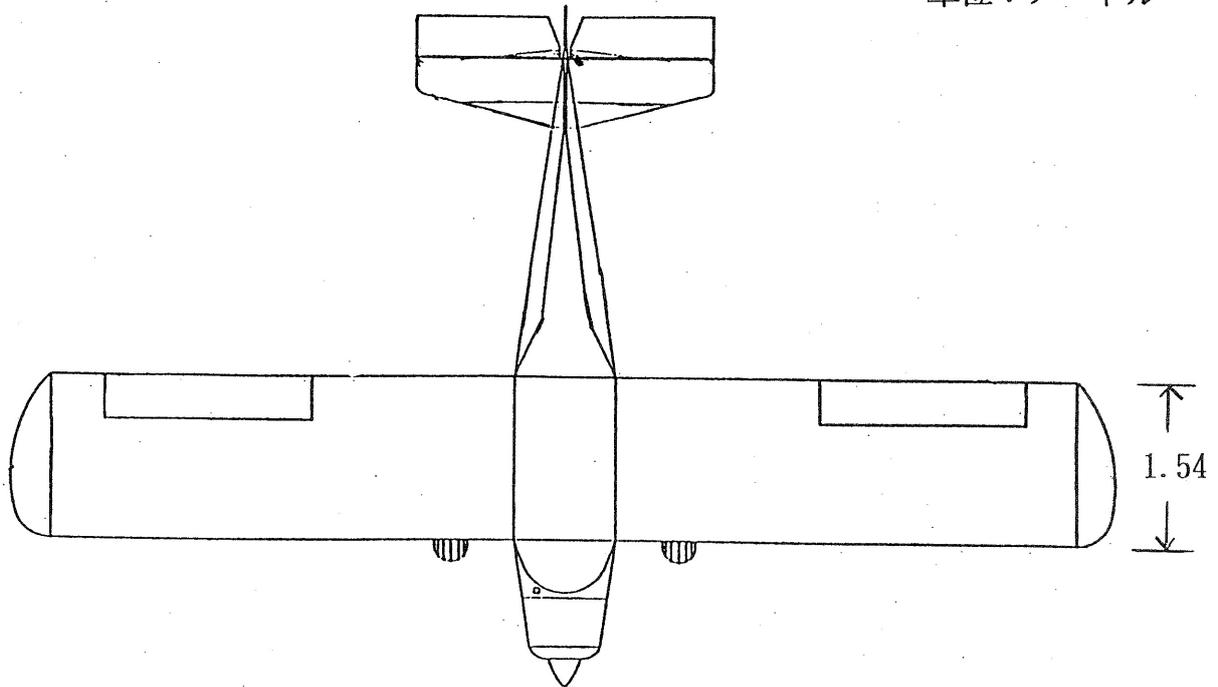
着陸時に変動した風に煽られ、それに対する着陸操作が適切に行えず、離着陸地帯の左外側に流され、吹き流しの支柱に左翼が接触し墜落したものと推定。

付図1 推定飛行経路図



付図2 マーフィ式マベリックR503L型
三面図

単位：メートル



写真

事故機

